

三 北斗だより

令和8年度 第3号
(6月1日発行)
愛媛県立今治北高等学校

「いい花、咲かせようじゃないか」

1年学年主任 柚山 宏光

誰かに話したいなと思ったあるVチューバーの話です。

子育てを昔から「植物の生長」に例えることって多いじゃないですか。自分が少年院の先生をしている時、月に1回ぐらいお坊さんが説教にくるんですよ。その時の話でなんですが、曰く「最近の世の中では、教育の参考書を見ると、子供を植物に例えて『子供をちゃんと育てるには土を良くしましょう』と書いている。親はこうあるべきとかね。生まれてくる時から子供の家庭教育の環境を整えましょう。とかね。でもね。あそこ見てくださいよ。コンクリートの隙間あるでしょう。草生えているじゃないですか。種はね。場所選ばないんですよ。土が悪かろうが、種は育つんですよ。だから、土を一生懸命耕そうとか、いい土を作ろうとかしようと頑張るけど『花咲きゃ一緒や!』というのを覚えておいてほしい。」という話。

確かに「花咲きゃ一緒」やし、咲いた花は結果評価されるわけ。なんか今の親の関心ごとが、植物をいい土に植えてあげることになっているけど、ほんとに大事なのは最後、どんな花を咲かせるかが大事じゃないのかなあ。まだ花が咲いていない段階で、茎が曲がっているでしょう。葉っぱが足りないでしょうって。でもそれって植物にとってホントに大事なことかな。『花咲く』ことが大事なことじゃないのかな。確かに土がいいのに越したことはないんですけど、その土がその植物にいいかどうかはわからないんですよ。だって物心ついてないんだもの。子育て悩んでいる人がいたら、あまり考えなくていいんじゃないかなあ。

お坊さんいいこというやんけ! 20代の若者の私は、60後半の坊さんに「ええこといいですね。」と いっちゃました。(笑)

『くずかごの中の詩』星野佳正著

美術の授業で「高校生の詩画」というテーマで授業を行っていました。活動内容は、生徒たちが自分で詩を書いて、それに合わせるイラストを制作する表現活動です。下の作品は、生徒に聞かせたい詩を探していた時に出会ったものです。高校生の庭田君(当時17歳)が作った詩。この詩が掲載されている本をいろんな所で探していたら、なんと今治北高校の図書館にありました。今でも時々読んでいます。

さて、6月が始まります。みんないい花を咲かそうじゃありませんか。

「背中」

あなたの背中には
何がありますか？

僕の背中には、勝手に
背負っている
不安があります。

「自分に」

できないんじゃない
やってないんだよ。

「差」

どんぐりの背比べ
どんぐりにしてみれば、
大きな差なんだぜ

「る」

こうなりたい。
あれやりたい。
そうしたい。
違うだろ。

最後は「る」だ。

「目」

頭なんか関係ないよ
大切なのは目なんだよ。

※お気付きの点や、御意見・御質問などありましたら、下に記入の上、お子さんを通じて担任まで御提出ください。

今治北高校の日々の様子をホームページに掲載しています。「今北日記」「生徒の活動」「部活動」など、ぜひ御覧ください。

今治北高等学校 学校公式サイト <https://imabarikita-h.esnet.ed.jp>

----- 切 り 取 り -----

____年 ____組 名前_____

--